

# JIS

## 包装貨物—水平衝撃試験方法

JIS Z 0205 : 1998

平成10年3月20日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS Z 0205-1961は改正され、この規格に置き換えられる。

---

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 27.2.12 改正：平成 10.3.20

官 報 公 示：平成 10.3.20

原案作成協力者：社団法人 日本包装技術協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 物流部会（部会長 高橋 輝男）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部機械規格課（☎ 100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 包装貨物—水平衝撃試験方法 Z 0205 : 1998

## Packaged freights—Method of horizontal impact tests

**序文** この規格は、1985年に第1版として発行されたISO 2244 : 1985, Packaging—Complete, filled transport packages—Horizontal impact tests (horizontal or inclined plane test : pendulum test) を元に、対応する部分(適用範囲及び試験方法)については対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定内容(傾斜面試験機の滑走車用引上げ設備及び自動けん引装置)を日本工業規格として追加した。

なお、点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。

**1. 適用範囲** この規格は、包装貨物の水平衝撃試験(水平面試験、傾斜面試験及び振子試験)の方法について規定する。試験は、水平衝撃の影響を調査する単独試験として、又は水平衝撃を含む流通方式に耐える包装貨物の能力を測定するように計画された、一連の試験の一部として実施することができる。

**備考** この規格の中で{ }を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって、参考値である。

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

JIS P 8127 紙及び板紙の水分試験方法

JIS Z 0201 試験容器の記号表示方法

**備考** ISO 2206, Packaging—Complete, filled transport packages—Identification of parts when testingからの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS Z 0203 包装貨物試験の前処置

**備考** ISO 2233, Packaging—Complete, filled transport packages—Conditioning for testingからの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS Z 2101 木材の試験方法

**3. 装置**

**3.1 一般** 包装貨物に水平速度を与えて、衝突面との衝突によって水平衝撃を加える衝撃試験装置は、次の条件を備えていなければならない。

**3.2 衝突面**

a) 次のいずれかとする。

1) 傾斜面試験機では、垂直に対して $10 \pm 1^\circ$  傾けた面

2) 水平面試験機又は振子試験装置では、垂直に対して $1^\circ$  以内の面

b) 衝突面の寸法は、包装貨物の衝撃作用面より大きいものとする。

c) 衝突面は、衝撃によって容易に損傷を生じることのないよう十分な剛性をもつものとする。

**備考** 衝突面は、表面のいずれかに $15.7 \text{ MPa}$  { $160 \text{ kgf/cm}^2$ } の荷重を加えたとき、 $0.25 \text{ mm}$ を超えるゆがみを生じないようにする。